








**8 道後館**   
 菊間の鬼瓦が印象的な足湯。玉砂利の刺激が足裏に心地よい「立ち湯」と、座って足を浸す「座湯」がある。  
 ●利用時間: 6~22時  
 タオル: 売店で販売(100円)

**7 ホテル古湧園**   
 小林一茶の「寝ころんで蝶よらせる外湯かな」の句碑の前に設けられた御影石造りの足湯。  
 ●利用時間: 7~11時、14~22時  
 タオル: あり(無料)

**6 ホテル椿館別館**   
 ひわだぶき屋根の東屋風(あずまやふう)造り。浴槽が岩風呂風で心地よい。椅子の目の前に正岡子規の句碑がある。  
 ●利用時間: 7~21時  
 タオル: フロントで貸出(無料)

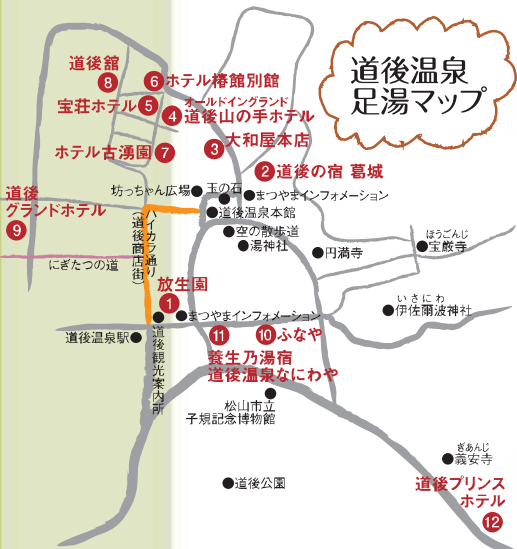
**5 宝荘ホテル**   
 ホテル入口の坪庭に面して設けられている足湯。自然石を使った浴槽に天然銘木の椅子が配されている。  
 ●利用時間: 6時30分~22時  
 タオル: あり(無料)

**1 放生園**   
 道後温泉駅前の放生園にある足湯。明治時代に道後温泉本館で使っていた湯釜の周りに、4人がけのベンチを2つ設置。足湯に入りながら、坊っちゃんからくり時計のパフォーマンスを間近で見ることもできる。  
 ●利用時間: 6~23時  
 タオル: 道後観光案内所で販売(100円)




日本最古の温泉のおもてなしの心が息づく

# 道後温泉足湯めぐり




※平成20年11月現在 (利用時間などは変わることがあるので、詳細は各旅館・ホテルにお問い合わせ)




**10 ふなや**   
 ふなや自慢の庭園「詠風庭(えいふうてい)」に平成20年5月に完成した足湯。庭を流れる川のせせらぎを聞きながら、せいたくなが時間が過ぎる。  
 ●利用時間: 12~20時  
 タオル: 館内で貸出(無料)




**9 道後grandホテル**   
 玄関口に設けられた手湯。かまど風の浴槽から湯がわき出しているので、ひしゃくですくって手に掛けよう。  
 ●利用時間: 7~10時、15~21時  
 手ぬぐい: あり(無料)




**12 道後プリンスホテル**   
 定員12名のゆったりとした造りで、テーブル付き。温泉玉子づくり体験(1個100円。14時30分~)もできる。  
 ●利用時間: 12~20時  
 タオル: あり(無料)




**11 養生乃湯宿 道後温泉なにわや**   
 たつぷり湯を張った深い浴槽で、足の疲れがじんわりと癒される。少し奥まった所にあるので、人目を気にせずくつろげる。  
 ●利用時間: 6~23時  
 タオル: あり(無料)




**4 道後山の手ホテル**   
 オールドイングランド 道後ではめずらしいレンガ造りの洋風の足湯。座り心地のよいチェアに腰掛けて優雅なひとときが過ごせる。  
 ●利用時間: 7~22時  
 タオル: あり(無料)



**3 大和屋本店**   
 源氏物語にも登場した「伊予の湯げた」にちなんだ足湯に全面リニューアル。喫茶メニューもオーダーできる。  
 ●利用時間: 7時~22時30分  
 タオル: 喫茶で販売(100円)



**2 道後の宿 葛城**   
 隣接する姉妹館・花ゆづきの「足だけの湯」が葛城のエンランスに転移。純和風の足湯にリニューアルした。  
 ●利用時間: 12~19時  
 タオル: あり(無料)

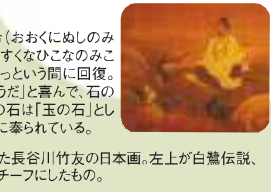
一羽の傷ついた白鷺が足の傷を癒したのが始まりと伝わる道後温泉。道後にはこの伝説にちなんだ12の足湯スポットがあります。日本最古の温泉といわれる道後の湯が無料で手軽に楽しめることあって、観光客はもちろん、道後散策途中のひと休みスポットとして多くの市民の皆さんの憩いの場として親しまれています。

## 3000年の歴史を誇る 道後温泉のあつたか伝説



**【白鷺伝説】**  
 足にケガを負った白鷺が、岩間にわき出る湯をみつけ、足の傷を癒したのが始まりとされる道後温泉。伝説にちなみ、道後温泉本館の振簾閣(しんろかく)の上には、大きく羽根を広げた白鷺のオブジェがある。さらに、本館の周りの玉垣(たまがき)にも、羽根を休めた白鷺のオブジェが設置されている。

**【玉の石神話】**  
 伊予国を訪れた大國主命(おおくにぬしのみこと)が病気の少名彦命(すくなひこなのみこと)を湯につけたところ、あつたかという間に回復。「ちよつと屋敷をしていたようだ」と喜んで、石の上で驚い踊ったという。その石は「玉の石」として、道後温泉本館の北側に奉られている。



※道後温泉の歴史を描いた長谷川竹友の日本画。左上が白鷺伝説、右下が玉の石神話をモチーフにしたもの。

## 足湯のお作法

- 足湯めぐりに、ストッキングやタイツは不便。さっと入れる服装で出かけよう。
- 入浴時間は10~15分ほどが目安。込み合っている時は長湯を避けて譲り合いを。
- ホテルが設置した足湯の中には、無料のタオルが利用できる場所もあるが、足ぶき用のタオルは持参しておこう。



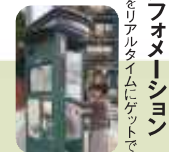
**お湯かけ祈願**  
 平成19年夏から玉の石にてお湯かけ祈願がスタート。温泉水をひしゃくで温めてお湯をかける。祈願してみよう。



**放生園に身嗜所を設置**  
 放生園の足湯にカギのかかる更衣室「身嗜所」が完成。トキングなどの着替えに便利。季節によって変動あり。



**空の散歩道**  
 平成20年の春に完成した空の散歩道を、道後温泉本館を上り下りする絶好のビューポイント。



**まつやまインフォメーション**  
 松山市の最新情報リアルタイムにゲットできるデジタル案内。市内13カ所、うち道後温泉本館2カ所。うざり本誌「いれいれ」をはじめパンフレットなども設置されている。

